

岩手・宮城内陸地震の崩落土砂対策工事が進行中！！

砂防災害課
一関総合支局土木部

県では、平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で発生した磐井川上流における大規模土砂崩落に対応するため、磐井川板川地区と産女川岡山地区において砂防えん堤工事を実施しています。

昨年12月に着手した槻木平砂防えん堤からの除石工に引き続き、平成21年5月から両えん堤工事に本格的に着工。板川地区は8月7日、岡山地区は8月11日にコンクリート初打設を実施し、平成23年3月の完成を目指しています。

また、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所が進めている一関市市野々原地区の河道閉塞箇所（天然ダム）の対策工事では、排水路の拡幅工事が進んでいるほか、9月17日には磐井川、産女川の2河川に3つの砂防えん堤を整備する「栗駒山系直轄特定緊急砂防事業」の着工式が行われるなど、崩落土砂対策工事が着実に進んでいます。

